

第10回「光ネットワーク超低エネルギー化技術拠点」 ／第7回電子光技術合同シンポジウム



2018年1月26日、秋葉原ダイビル コンベンションホールにおいて、産業技術総合研究所（産総研）主催、当協会共催により、第10回「光ネットワーク超低エネルギー化技術拠点」／第7回電子光技術合同シンポジウムが開催された。「光ネットワーク超低エネルギー化技術拠点（VICTORIES拠点）」シンポジウムが今回で最後の10回目となるため、今年度は、「フォトニクスが拓く超スマート社会～VICTORIES拠点の10年と光ネットワークの新しい展開」をテーマに、その活動の継承先である産総研電子光技術研究部門の第7回電子光技術シンポジウムとの合同で実施された。当日は、産業界並びに関係研究機関等から286名の参加があり、会場がほぼ満席となるなど、この分野に対する関心の高さを感じさせた。

午前には、基調講演として、VICTORIES拠点の成果の展開が期待される3大分野である人工知能、ICTおよび医療分野について、「人工知能のグランドチャレンジ」と題して、ソニーコンピュータサイエンス研究所 代表取締役社長 北野宏明氏より、また、「豊かな未来を切り拓くICTと光ネットワーク」と題して、日本電信電話株式会社 代表取締役副社長 研究企画部門長 篠原弘道氏より、さらに、「8K映像技術が拓く医療」と題して、メディカル・イメージング・コンソーシアム 理事長 千葉敏雄氏よりご講演をいただいた。

また、午後は、VICTORIES関連セッションと特別講演セッションの2部で構成され、VICTORIES関連セッションでは、シリコン光スイッチ技術等のVICTORIES拠点の活動と成果に関する6件の講演が行われた。さらに、特別講演セッションでは、車載光イーサネット、3Dフォトニクス等のフォトニクス技術に関する5件の講演が行われた。

各講演の終了後には多くの参加者と有意義な議論が展開され、大盛況のうちにシンポジウムは閉幕した。